

医学部、看護学部1年生 T-スポット TB 検査の実施について

過去の病と思われていた結核が近年、増加傾向にあります。世界的に見て日本は結核蔓延国です。(罹患率：米国 2.8・カナダ 4.6・オーストラリア 5.2 日本 13.9 H28 統計) その中でも大阪府は結核罹患率日本一です。

結核とは

結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。結核患者が咳やくしゃみをした時に飛び散るしぶきの中の結核菌を吸いこむことにより感染します。

初期症状は、咳、痰、発熱、だるさ、寝汗等風邪に似ています。

* 若い世代は結核菌の未感染者が多く、結核菌に対する免疫が弱いいため感染者から容易に感染してしまう傾向にあります。

* 結核に罹った場合、適切な治療をしなければ、自らが集団感染・院内感染の感染源になる可能性があります。予防として、予防接種（BCG）と早期発見（胸部レントゲン撮影、Tスポット TB 検査）が必要です。

* 本学においては、学生を対象に年1回の胸部レントゲン撮影検査を含む定期健康診断と入学時にTスポット TB 検査を実施しています。

『T-スポット TB 検査』とは

- ・ interferon-gamma release assays (IGRA) を利用した検査の1つで、ELISPOT 法を用いて、IFN- γ 生産細胞数を計算することにより結核菌感染の有無を判定します。
- ・ BCG や大部分の非結核性抗酸菌の影響を受けず、高い特異度が得られます。(国内臨床試験成績では、99.1%の特異度)
- ・ BCG における特異度がツベルクリン反応検査に比べ優れており、ブースター効果も認めません。

『T-スポット TB 検査』の方法

事前に問診票を書いて頂き、採血管1本で6ml程度の血液検査を行います。

食事には関係しないので食事摂取してからでも採血可能です。

★ 以下に相当する方は保健管理室まで事前にご連絡下さい

* 延期の必要な方

- ・ 4週間以内に麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘等のウイルス疾患に罹患していた場合
- ・ 4週間以内に生ワクチン接種を受けた場合

* 判定考慮が必要な方

- ・ 妊娠中
- ・ 免疫不全になる疾患に罹患中あるいは治療中

★ 結果と事後措置：約3~4週間後個別に返却予定です

結果	結果の説明
陰性	感染していないと思われます。
陽性	感染している可能性が疑われます。健康管理医との面談実施後、必要に応じて呼吸器内科を受診し結核感染治療を行います。
判定保留	判定結果としてやや信頼性が低下するため、場合によっては再検査を行います。

※ 判定不可の場合、再検査が必要です。

★ 医学部1年生 Tスポット TB 検査 実施日程 ★

<日 程> 平成30年5月7日(月)～14日(月)

各自の日時は別紙参照

<場 所> 総合研究棟1階 保健管理室

<方 法> 問診票提出：検査前に問診票を配布します。
必要事項を記入し提出してから、採血します。

★ 看護学部1年生 Tスポット TB 検査 実施日程 ★

<日 程> 平成30年4月23日(月)、26日(木)、27日(金)、
5月1日(火)、2日(水)

各自の日時は後日案内します。

<場 所> 総合研究棟1階 保健管理室

<方 法> 問診票提出：検査前に問診票を配布します。
必要事項を記入し提出してから、採血します。

ご不明な点がございましたら、保健管理室（内線 2291）までご連絡下さい。